

○事業所名	キッズスオハナ宮原		
○保護者評価実施期間	2025年1月10日		～ 2025年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31名	(回答者数) 26名
○従業員評価実施期間	2025年1月10日		～ 2025年2月15日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日常生活訓練型施設として多様なプログラムを提供している	個別で取り組むものと全体で協力して行うものを偏りなく取り入れるようにしている	さらに支援の専門性を高め満足度の高い療育を提供していきたい
2	職員間で情報共有がきちんとなされている	些細なことでも情報を共有するように心がけている	今後は事業所だけにとどまらず他店舗や学校などとコミュニケーションを図っていきたい
3	個々に合わせた目標を設定し支援に取り組んでいる	小さな気づきも報告しあい、短期・長期の目標についてスタッフ全員で見直しを行っている	より個々に目を配れるような環境づくりに努めていきたい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	別室がない	全体から離すことができないため利用者の状況によって困ることがある	安全に配慮しながら事務スペースを活用するなどして対応していきたい
2	地域との交流がない	参加可能な地域イベントがなく、交流をする機会がない	現在行っている地域貢献活動をつづけながら、より人との交流を模索していきたい
3	保護者同士や兄弟を含めての交流ができていない	多くの方が交流を望んでいない	個別に寄り添いながら小集団で交流ができるような機会を考えていきたい

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日：2025年3月25日

事業所名：放課後等デイサービス キッズスオハナ宮原

対象人数（保護者）31人 回答者数 26人 回収 81.2%

	チェック項目	評価			ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ		
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	9	4	もう少し広いと嬉しいです。 もう少し広いと良いかもしれません。	広さ、配置等は法令を遵守しておりますが、プログラムによっては外部施設を使うなどしています 今後も安全に活動が展開できるような環境を整えてまいります
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	23	2	1	職員さんが休憩できているか心配です。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	3	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	4			
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24	2			支援プログラムは本ホームページで公表しております 毎月のプログラムは繰り返し行うものと新しいものを適宜取り入れながら組み立てています
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	2			
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25	1			
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	2			
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	1			

		チェック項目	はい	どちらともいえな い	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	2			
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	11	7	よく知らなくてすみません	現在交流は考えておりません
保護者への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26				契約時に書面で必ず説明しております
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25	1			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	11	5		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	26				モニタリングや送迎の際など直接お話しする機会を大切にしています
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23		1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24	1			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	12	8	なくて構わないような気がします…	不要との意見が多く現在は行っていないですが、改めて検討してまいります
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	4			
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	24	1			Instagramを中心に様々なSNSを使って定期的に発信しています
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24				今後より一層留意してまいります	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	3			マニュアル類は事務室にあり、いつでもご覧いただけます
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22	1	1		定期的に避難訓練を実施しSNSで様子を発信しています
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	1			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25				
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	24	1			子どもにとってオハナが安心して過ごせる自分の居場所となるよう、職員一同励んでおります 今後も専門性に磨きをかけよりよい療育を目指してまいります
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	21	4		とってもとっても楽しみにしています！	
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	1		いつも本当にありがとうございます！！ 連絡帳に写真ものせていただき、いつも楽しみにしています。帰りの送迎では、変更時もご対応していただきありがとうございます。、 いつもありがとうございます。オハナさんから帰宅すると、いつも笑顔なのでとても楽しく過ごせるようで感謝いたします。平日も利用したいのですが、仕事と時間が合わないのがちょっと残念です。いろいろな経験をさせていただきありがとうございます。また家族と一緒にバーベキューイベント等があると嬉しいです。今後ともよろしく願います	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(事業者向け)公表

公表日:令和7年3月25日

事業所名:キッズオハナ宮原

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	2	公園や体育館、図書館を優子活用しているのはとても良いと思う アリーナや公園を利用している 14~15名利用時はもう少し広いスペースがほしい	訓練室には限りがあるため、活動によっては外部施設を利用するなどしてよりよい療育を心がけていきたい	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		利用者の特性に応じて物が視界に入らないよう配置換えを行っている		大規模な改修は望めないが仕切りなどの活用で環境づくりをしていきたい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		毎日の清掃、オスバンでのふき取りなどで清潔にしている 心地よく過ごせるように温度等にも気を付けている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1	個別の部屋があるとよいと思う 事務スペースを使用して対応している 個別の部屋がない為その時の状況により必要に応じて事務所スペースを利用している		
業務改	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		毎月会議を行っている		

善	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9		保護者から評価をいただいている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9			
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		担当者以外のメンバーからアイデアを出している	繰り返し行うことで定着を図るプログラムもやり方やアプローチの方法を変えることで飽きを感じないように提供している
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		同じプログラムが連続しないようにチェックしている	同じプログラムでも一人一人にあわせて難易度を変え、全員が達成感や満足感を味わえるよう工夫している
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9			

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		各々が報告し必要事項は共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	9			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		活動の中で自ら選択できる内容を取り入れている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		専門の相談員が対応している	主に児童発達管理責任者が参画している
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		送迎時の情報共有を積極的に行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	1	8	地域の子どもの活動は少ない 公園で遊ぶ時に共遊することもあるのが良い コロナによる制限以降機会がない	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	2	必要に応じて参加している	

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9			
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	6	今後計画も進めるとよい 交流は現在行われていない	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	4	地域住民との交流はないが活動として周辺のごみ拾い等をしている 地域貢献活動をプログラムに取り入れている	

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		年に2回避難訓練を実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		保護者や学校との情報共有も行っている	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		指示書に基づく保護者からの依頼に対応している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		オンライン等も含めて研修を定期的に行っている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9			